



いずくら雄太県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

循環器病センター

検討の白紙撤回を強く要望!

2月県議会予算委員会に登壇



予算委員会で発言する伊豆倉委員

センターの機能維持は死活問題

市原市選出で県議会1期目ながら活発な議会活動を続ける伊豆倉雄太(いずくらゆうた)県議は、県の新年度予算案を審議する2月定例会県議会の予算委員会質疑に登壇し、地域の医療問題を中心に厳しい質問を展開しました。伊豆倉県議は、県循環器病センターのあり方を見直す県の方針に対し、「地元への説明が全く行わ

れていない。地域から人口流出を防ぐためにも、病院の機能維持は必要であり、周辺市町村にとっても死活問題。白紙撤回を求めると強く訴えました。

また、訪日外国人による医療費未払い問題などを新たに提起し、県としての基本的な対応を求めました。中小企業を支援する新たな資金調達方法についても質問し、県民の視点から県当局の考え方をただしました。

県の果たすべき役割

伊豆倉委員 鶴舞地区にある県循環器病センターの周りも、決して人口の多い地域ではありません。なか

なか民間の病院が立地する場所でないことから、県の果たす役割が大きいのではないのでしょうか。病院の有無は、住む方に

必要な医師の確保

伊豆倉委員 地元への丁寧な説明とありますが、丁寧どころかまったくなされていません。どこへ、どのように説明したのか。

経営管理課長 昨年11月には、地域医療に係る協議の場である市原地域保健医療連携・地域医療構想調整会議において、今年1月には、地域の保健医療関係者の協議を行う場である市原市地域保健医療協議会において、循環器病センターのあり方の検討が必要

とっては、大きな判断基準になります。これから企業誘致や移住・定住を考える方にとっても、大きく影響します。何よりも住民の安全・安心につながると思いますが、そこを伺います。

循環器病センターの課題をどのように考えているのか。

経営管理課長 千葉県立病院新改革プランでは、人口密集地帯から離れた立地上の課題等から、近年、入院患者数が減少していること、隣接する山武長生夷隅医療圏と所在する市原医療圏に相次いで救命救急センターが指定されたことを踏まえると、将来的な専門

医療と地域医療のそれぞれのあり方を検討していくことが必要としています。

伊豆倉委員 循環器病センターの機能について、今後、どのように考えているのか。

経営管理課長 循環器病センターのあり方については、循環器病センターが担っている専門医療や地域医療の役割について、全体的な視点や地域医療の確保の視点、この両方をしっかりと持ちながら、地域の自治体や医療関係者などの意見を十分に伺い、地域の理解を得られるよう、丁寧に検討を行ってまいりたいと考えています。

になった経緯等について、ご説明を行ったところで、伊豆倉委員 場所の問題、患者の減少と言ったが、腕の良い医師がいれば患者は増加するし、診療科目が減少すれば患者の減少は目に見えている。自民党議員の中にも、白紙撤回の声が多くある中で、循環器病センターへ減った医師の増員は考えているのか。

経営管理課長 県民の皆さまが安心して医療を受けられることが重要だと認識

しており、今後、循環器病センターの担う役割の検討も踏まえ、必要な医師等の確保に努めてまいりたいと考えています。

要望 千葉県循環器病センターの機能維持は、周辺市町村にとつて死活問題であり、千葉市にとつても(仮称)総合救急災害センターの本設計を早く進めることを望んでいます。人口流出を防ぐためにも、病院機能の維持継続が大事であり、白紙撤回と医師の補充を強く要望します。

●県政と市原市に関するご意見・ご要望をお聞かせください。

いずくら雄太 県事務所

〒290-0081 市原市五井中央西2-11-5
TEL.0436-37-1777 FAX.0436-37-1331

外国人医療費未払い問題を提起

地域医療と県の役割を問う

外国人の医療問題

伊豆倉委員 医療問題

を取り巻く環境は大きく変化していますが、2020年の東京オリンピック・パラリンピックで外国人に対する医療をめぐる問題について、どのように検討しているのか。

健康福祉政策課長 オリ

ピック・パラリンピックの開催に向けて、訪日外国人の増加が見込まれる中、外国人に対する医療機関情報や、診療上のコミュニケーションなど、外国人患者の受け入れ体制に関する課題への対応は、重要だと認識しています。

具体的に対応については、医師会等の関係者も参画するオリンピック・パラリンピック推進会議の専門部会などを活用しながら、今後、検討してまいりたいと考えています。

伊豆倉委員 在日外国人の医療費未払いについて、どのように対応しているのか。

医療整備課長 県では、救急車により救急患者の搬入を受けた医療機関で、その後、救急患者の失踪等により生じた未払い医療費に

対し、県単独の補助制度を実施しています。当該事業を引き続き継続していくことにより、医療機関の負担軽減に努めてまいります。

要望

在日外国人だけでなく、今後確実に増えるイベントや旅行者

地域医療は県の役割

伊豆倉委員 地域住民に

とつて、病院は非常に重要なことであること。住みやすさにも直結し、何よりも不測の事態が起こったときには、生命にも関わるからです。

地域医療は、県としての大きな役割です。地域医療を担っている県立病院の今後の方向性について、どのように考えているのか。

健康福祉政策課長 千葉

県保健医療計画の改訂試案

公立病院の役割

伊豆倉委員 地域医療

は、民間でできない地域を行政が補うべきだと思いますが、県の見解はどうか。

健康福祉政策課長 地

域医療については、地域の実情に応じて、公立病院と民間医療機関との適切な役割

での訪日外国人の医療費未払いを県としても考えていく必要があると思います。

特に帰国してしまうと、大使館に掛け合ってもなかなか回収できないという現状があるので、今後検討していただきたい。

では、現行計画と同様に、県立病院で担っている地域完結型の一般医療については、県民の理解を求めながら、地域の実情を踏まえた新たな医療提供体制の枠組への再構築を進めることとしています。

また、新たな医療提供体制が整うまでは、地域医療の水準が後退しないよう十分配慮しながら、地域自治体等の取り組みを積極的に支援するとしています。

健康福祉政策課長 国の新公立病院改革ガイドラインにおいて、県立・市町村立等の公立病院に期待されていること

とは何か。

健康福祉政策課長

国の新公立病院改革プランで、公立病院に期待されている役割としては、山間・へき地等における医療の提供や、高度専門的な医療の提供や、小児、救急、周産期などの非採算医療といった政策医療が期待されています。

伊豆倉委員 今後、産科医など不足が見込まれる診療科目の医師をどのように増やすのか。

医療整備課長 県では、特に医師不足が深刻な産科医や新生児科医に対する手

当て支給などの処遇改善に取り組み医療機関への財政支援や、就学資金貸付制度における産婦人科コースの設定などを行ってまいります。

また今後、国から地域、診療科ごとの必要医師数を統一的、客観的に把握する指標が示されると聞いていますので、その指標に基づき、必要となる医師の確保に引き続き

取得組んでまいります。必要な医師確保に向けて、全力がばっていただきたいと思います。



予算委員会の審議風景

補助金の上限額を引上げ

クラウドファンディング

伊豆倉委員 クラウドファン

ディングを活用した中小企業振興について伺います。クラウドファンディングとは、インターネットで不特定多数の個人から少額の資金を募る新しい資金調達の方法ですが、調達だけでなく、新たな顧客づくりや販路開拓も同時にできることから、全国でその活用が広がっています。

そこで、県はクラウドファンディングについて具体的にどのような支援を行っているのか。

経営支援課長 クラウドファンディングの活用を支援するため、1つとして、千葉

県産業振興センターにおけるクラウドファンディングに係る相談窓口の設置。2つとして、クラウドファンディングを活用しようとする中小企業を後押しするため、初期費用の一部を助成する補助金の創設。3つとして、クラウドファンディングの周知啓発のため、チラシ、ポスターの作成やセミナーの開催といった取り組みを行っています。

伊豆倉委員 今年度、どのような事業に補助金を助成したのか。

経営支援課長 事業の選定に当たっては、県内の地域資源を活用した新たな事業の展開や、地域の課題解決を目的とした事業などを対象に審査を行います。審査の結果、勝浦市の廃校を利用

したコミュニティスペースの開設や幕張での地ビール醸造など、5件のプロジェクトに補助金の交付を決定しました。

伊豆倉委員 来年度、クラウドファンディングの活用促進をどのように図っていくのか。

経営支援課長 現在、購入型クラウドファンディングを活用する場合、商品やサービスの魅力をアピールするための動画製作に経費をかける企業が多いという実態があることから、来年度から補助上限額を10万円から25万円に引き上げて層の活用促進を図ってまいります。

医療問題で地域の声を代弁



県担当者の答弁を聞く伊豆倉委員